



令和7年度 第16回卒業証書授与式

本日3月18日、第16回卒業証書授与式を本校体育館にて挙行いたしました。卒業生の皆さんは、多くの保護者の皆様と教職員に見守られながら、中学校三年間の全課程を修了し、輝かしい門出の日を迎えました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

この佳き日に学び舎を去る皆さんと過ごした日々は、私たち教職員にとってもかけがえのない宝物です。中学校生活で培った自信と勇気を糧に、どうぞ胸を張って、新しい世界へと歩みを進めてください。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。これまでの3年間、本校の教育活動にお寄せいただいた温かいご理解とご支援に、心より深く感謝申し上げます。

本日、学び舎を巣立つ118名の未来が、希望と笑顔で満ち溢れたものになりますよう、教職員一同、心よりお祈り申し上げます。



学校長式辞

寒さもようやく和らぎ、春の訪れが間近に感じられる季節となりました。

本日ここに、ご来賓や関係各位のご臨席を賜り、第十六回富士見中学校卒業証書授与式を挙行できますこと、誠にうれしく思います。

第十六期生卒業生百十八名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの晴れの門出を心よりお祝い申し上げます。

今、皆さんは、充実した中学校三年間の様々な出来事を思い起こし、自分自身の大きな変化、つまり成長を実感していることと思います。

今年度の総合的な学習の時間では、一人ひとりが探究テーマを決め、それぞれのやり方で探究ウィークなどの時間をフル活用して熱心に、そして、楽しそうに学ぶ姿がとても印象的でした。生徒会活動では、「一心飛翔」をテーマに掲げ、スポーツデイなどを企画し全校生徒のつながりを深めるなど、どの取組においても一、二年生を力強くリードしながらよりよい富士見中学校を目指して活動してきました。また、合唱祭においても、本当に素晴らしい歌声で会場を感動でいっぱいにしてくれました。心を込めてひたむきに歌う皆さんの姿は忘れることはできません。本校で三本柱としている「挨拶、清掃、合唱」を誠実に積み重ね、この富士見中学校を地域に誇れる中学校として築き上げてくれた三年生でした。

今年度四月には奈良・京都に加えて、広島への修学旅行が行われました。被爆当時に思いを馳せながら広島電鉄の被爆電車で向かった原爆ドーム。被爆体験証言者の八幡照子さんのお話に衝撃を受けつつ、一つ一つの展示資料を食い入るように見つめ、核兵器の恐怖や非人道性について考えた平和記念資料館。また、京都市内の観光名所を楽しく巡ったタクシー見学等、皆さんと過ごした修学旅行は、私にとっても忘れられない思い出となっています。

先ほど皆さんにお渡しした卒業証書は、特別な紙で作られています。どのような紙かという、国内はもとより世界各国から原爆の子の像に捧げられた折り鶴を原料とした再生紙なのです。卒業生の皆さんも、犠牲となった方々への追悼と平和への祈りを込めて鶴を折り、雨の中ではありましたが捧げてきました。そのようにして捧げられる折り鶴は、毎年10tにもなるそうです。以前は、焼却処分されていたそうですが、折り鶴に込められた思いを大切にすることはできないかと考え、始まったのが折り鶴再生プロジェクトで

す。そのプロジェクトで生まれた折り鶴再生紙の卒業証書です。よく見てもらえば、色んな色の折り紙が元になっていることがわかれると思います。

今、世界を見渡すと、平和へ向かうどころか、戦争が拡大し、何の罪もない子どもたちも含め、たくさんの命が失われています。そんな中、核兵器の保有数を増やす宣言をした国まで出てきてしまいました。一体、世界はどうなっていくのでしょうか。平和と向き合い、富士見町と満蒙開拓の深い関わりについても学んできた皆さんには、願いが込められた卒業証書を時々見て、自分に何ができるのかを考え、行動に移して行ってほしいと心から願っています。

そこで皆さんの卒業にあたり、ひとつ言葉を贈ります。

「夢を見ることができれば、それは実現できる。」

これは、ウォルト・ディズニーの言葉です。皆さん一人ひとりの夢が、これからの未来をつくります。自分の夢を信じて挑戦を続け、皆さんの未来を、そして、平和な世界を力強く切り拓いていってください。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠にありがとうございます。思春期という多感な時期を迎える中で、お子様の成長を見守り、時には寄り添い、時には背中を押していただいたご苦労は、計り知れないものがあつたことでしょう。保護者の皆様の支えに心より感謝申し上げます。これからお子様は、それぞれの歩みを進め、新たな環境の中でさらに大きく成長していきます。その歩みを、これからも支えていただきますようお願い申し上げます。

結びに、本日、卒業証書授与式を挙げるに当たり、富士見町長の渡辺 葉 様をはじめご来賓の皆様、矢島俊樹教育長 様、教育委員の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜りましたことに感謝申し上げますとともに、今までのご尽力とご支援に厚く御礼申し上げます。今後も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

本日ご列席の皆様方のご多幸をお祈りするとともに、卒業生の前途を祝して、式辞といたします。

令和八年三月十八日

富士見町立富士見中学校長 丸山 博



【令和7年度末転退職員】

伊藤 智美 (国語科)	原村立原中学校へ
岩波 心さ子 (国語科)	ご退職
速水 牧人 (理科)	松本市立松島中学校へ
井上 千代 (保健体育科)	諏訪市立諏訪南中学校へ
渡辺 悠斗 (保健体育科)	駒ヶ根市立赤穂中学校へ
渡辺 莉子 (技術・家庭科)	立科町立立科中学校へ
林 啓太 (英語科)	伊那市立東部中学校へ
島田 龍志 (英語科)	横浜市立岩崎中学校へ

久村 潤子 (英語科)	ご退職
小口 政英 (初任研コーディネーター)	宮川小を中心にした初任研コーディネーターへ
後田 由起 (相談室)	ご退職
高見澤美奈子 (給食調理員)	原村立原小学校へ
中村 茜 (給食調理員)	富士見町立本郷小学校へ
中村 順子 (給食調理員)	原村立原中学校へ
丸山 博 校長	安曇野市立豊科北中学校長へ